

2013年12月期第2四半期（第63期） 決算説明会資料

2013年8月28日

株式会社 **妙徳**

東京証券取引所JASDAQ市場 証券コード6265

目次

1. 2013年12月期第2四半期決算説明
2. 2013年12月期業績見通し、配当方針
3. 今後の取組み

添付資料

- ・2013年12月期第2四半期決算短信
- ・業績予想の修正に関するお知らせ
- ・季刊情報誌 カムトフォーラム

1. 2013年12月期第2四半期決算説明

連結損益計算書

■国内販売厳しい状況で推移したことにより、
売上高は前年同期比6.8%減

	2012年 上期実績	2013年 上期計画	2013年 上期実績	増減率(%)	
				前期比	計画比
売上高	1,089	1,070	1,016	△6.8	△5.1
売上総利益 (売上総利益率)	595 54.6%	588 55.0%	534 52.6%	△10.2	△9.2
営業利益 (営業利益率)	200 18.4%	195 18.3%	141 14.0%	△29.2	△27.5
経常利益 (経常利益率)	204 18.8%	196 18.4%	157 15.5%	△23.0	△19.9
特別損益	△5	—	5	—	—
税金等調整前 当期純利益	199	196	163	△18.2	△17.0
当期純利益 (当期純利益率)	126 11.6%	115 10.8%	103 10.2%	△18.1	△10.2
1株当たり当期純利益	16円46銭	15円12銭	13円64銭	△2.82円	△1.48円

金額単位
:百万円

連結四半期毎業績推移

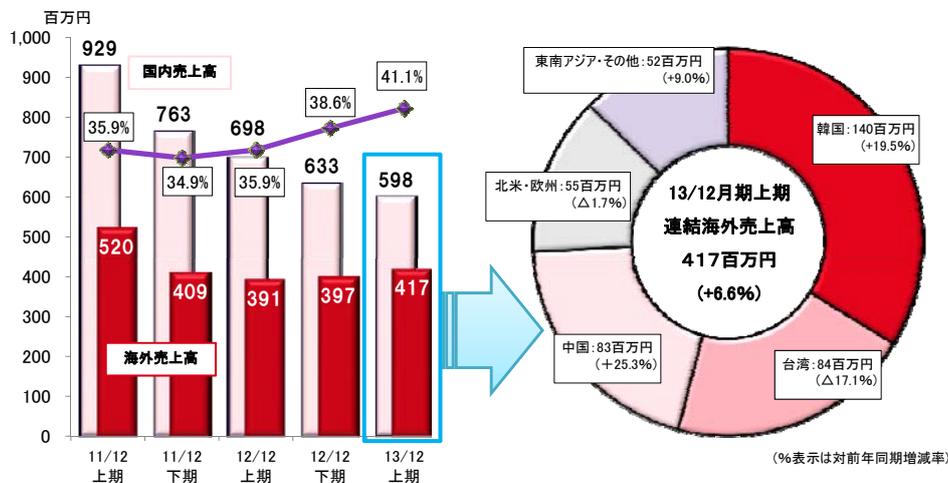


(*) 2010年12月期は、決算期変更に伴い9ヶ月間の変則決算となっております。

連結海外売上高



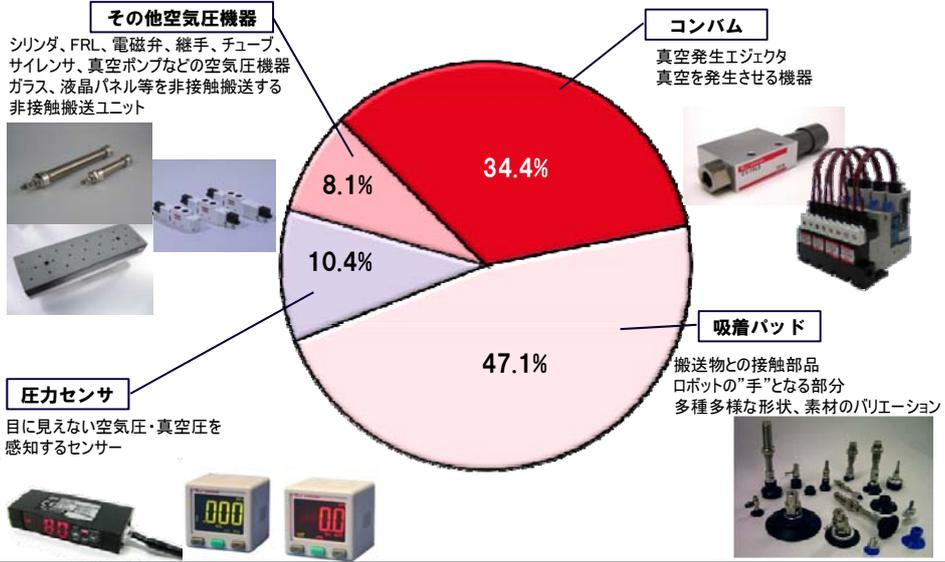
- 国内：前年同期比 85.7% 計画比 88.4%
- 海外：前年同期比106.6% 計画比106.0%



連結製品群別売上構成



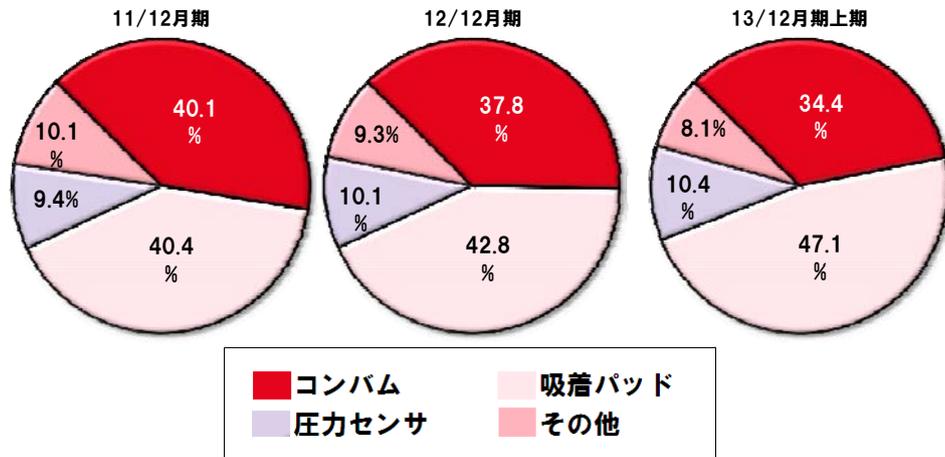
■2013年12月期上期 製品群別売上構成比率



連結製品群別売上構成比推移



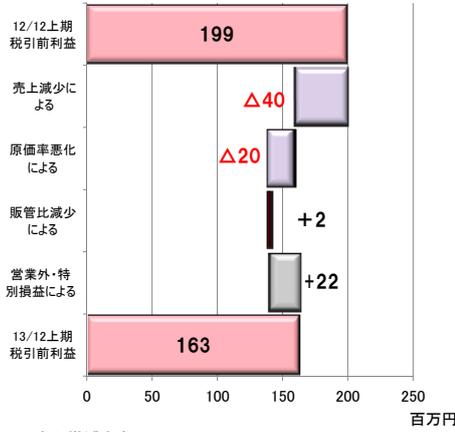
- コンバム売上構成比：新規装置需要低迷 低下
- 吸着パッド売上構成比：メンテナンス需要改善 上昇



利益増減要因

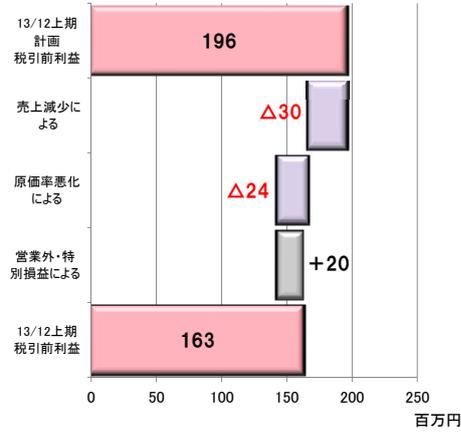


■対前年同期比



主な増減内容
 ■営業外・特別損益
 為替差益増加 9百万円
 固定資産売却損減少 6百万円
 投資有価証券売却益増加 5百万円

■対計画比

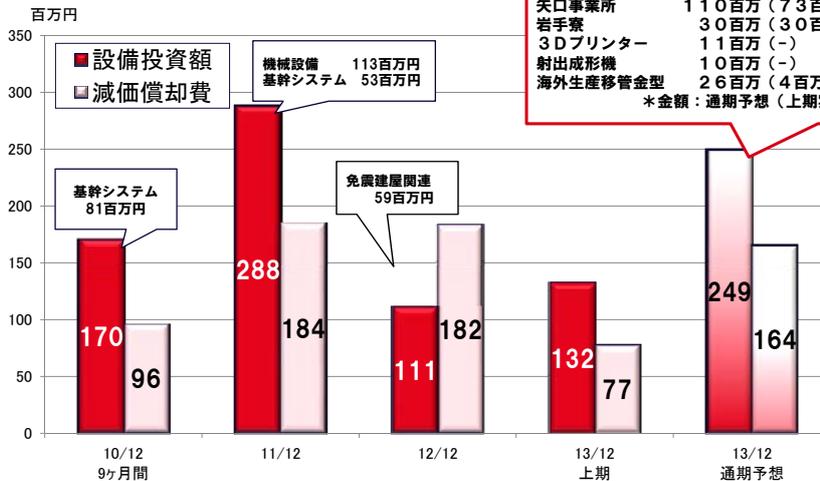


主な増減内容
 ■営業外・特別損益
 為替差益増加 9百万円
 投資有価証券売却益増加 5百万円

連結設備投資額、減価償却費



- 矢口事業所建替え（ショールーム、社員寮）
- 研究開発投資、海外移管投資



矢口事業所 110百万 (73百万)
 岩手寮 30百万 (30百万)
 3Dプリンター 11百万 (-)
 射出成形機 10百万 (-)
 海外生産移管金型 26百万 (4百万)
 *金額：通期予想 (上期実績)

■設備投資額
 ■減価償却費

基幹システム 81百万円
 機械設備 113百万円
 基幹システム 53百万円
 免震建屋関連 59百万円

連結財務状況

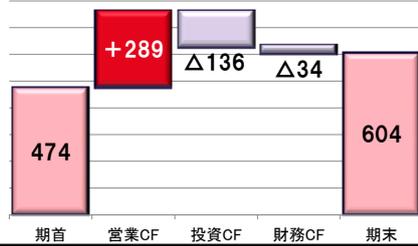


■連結キャッシュフロー

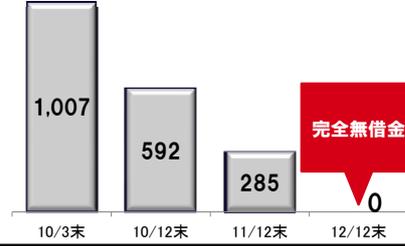
金額単位:百万円

	12年12月期 上期実績	13年12月期 上期実績	13年12月期上期実績の主な内訳
営業活動によるキャッシュフロー	301	289	税金等調整前当期純利益 163 減価償却費+77 法人税等の支払い△44
投資活動によるキャッシュフロー	△80	△136	有形固定資産の取得 △130
財務活動によるキャッシュフロー	△167	△34	配当金支払い△27 自己株式の取得△20
現金及び現金同等物の増減額	54	129	
現金及び現金同等物の期首残高	401	474	
現金及び現金同等物の期末残高	456	604	

■13年12月期上期実績



■連結借入金残高推移

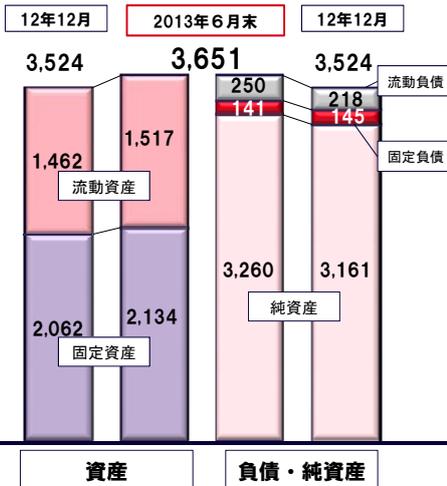


連結財務状況



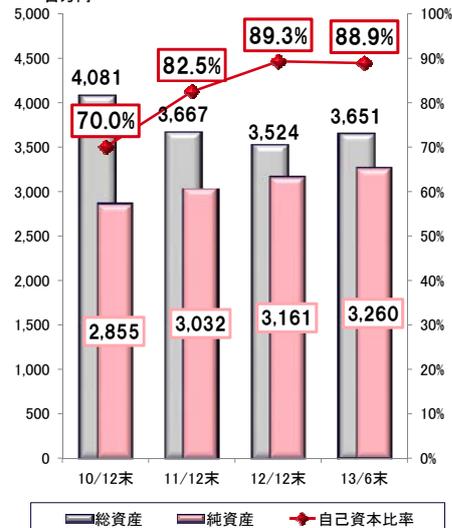
■連結貸借対照表

金額単位:百万円



■自己資本比率

百万円



2. 2013年12月期業績見通し 配当方針

2013年12月期連結業績予想

- 上期実績を顧みて2013/8/1通期業績予測を修正公表
- 最終利益は対前期比26.6%増（前期特損計上による）

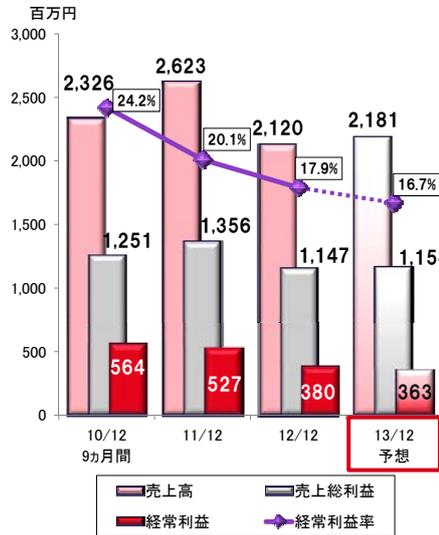
	2012年実績	2013年 期首計画	2013年 修正計画	増減率（%）	
				前期比	計画比
売上高	2,120	2,269	2,181	2.9	△3.9
営業利益 （営業利益率）	369 17.4%	446 19.7%	346 15.9%	△6.2	△22.4
経常利益 （経常利益率）	380 17.9%	447 19.7%	363 16.7%	△4.4	△18.8
特別損益	△73	—	5	—	—
税金等調整前 当期純利益	306	447	368	20.3	△17.6
当期純利益 （当期純利益率）	182 8.6%	267 11.8%	231 10.6%	26.6	△13.6
1株当たり当期純利益	23円74銭	34円96銭	30円36銭	6.62円	△4.60円

金額単位
:百万円

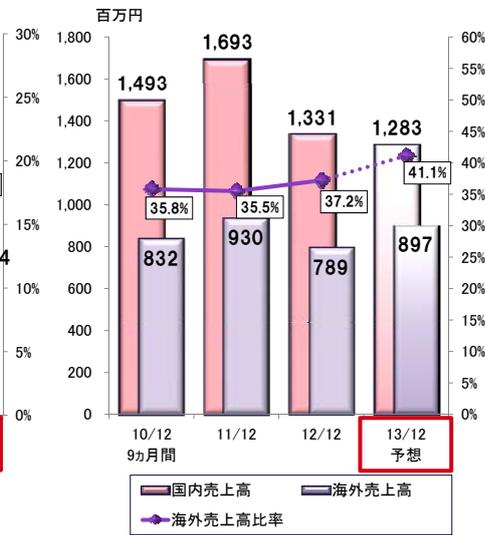
2013年12月期連結業績予想



■連結業績



■国内海外別連結売上高



配当について



- 配当性向25% 安定的、長期的な利益還元
- 業績予想の修正に伴う配当予想の修正はなし

	10年12月期 (9ヶ月間)	11年12月期	12年12月期	13年12月期 予想
中間配当	7.0円	5.0円	4.0円	3.5円 (実施済み)
期末配当	3.0円	5.0円	3.5円	4.5円
年間配当	10.0円	10.0円	7.5円	8.0円
1株当たり 当期純利益	38円75銭	39円78銭	23円74銭	30円36銭
配当性向	25.8%	25.1%	31.6%	26.4%
自己資本当期 純利益利益率	11.3%	10.6%	5.9%	7.2%

自己株式の取得



■自己株式取得の継続的实施

取得実施期間	取得株式数	株式取得価格の総額
2012/2/15~2012/8/31	25,000株	4,738,000円
2012/11/12~2013/5/11	86,000株	18,401,000円
2013/5/14~2013/11/13 (実施中)	120,000株 (上限)	32,000,000円 (上限)
2013/5/14~2013/6/30実績	29,000株	8,093,000円
合計	231,000株 (最大)	55,139,000円 (最大)

発行済み株式総数：8,285,000株
(うち自己株式数：707,953株)
*2013/6/30時点



3. 今後の取組み

事業拡大戦略



“ONE ASIA – ONE MARKET”

販売規模拡大



- 成長・安定市場の需要取込み
- ニーズに応える開発力強化

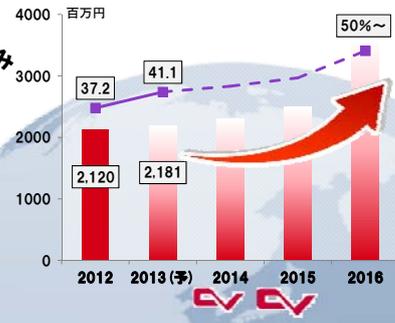
地産地消



- 供給力強化
- 価格競争力強化
- グループ間相互供給

相乗効果の循環
→ 更なる事業拡大

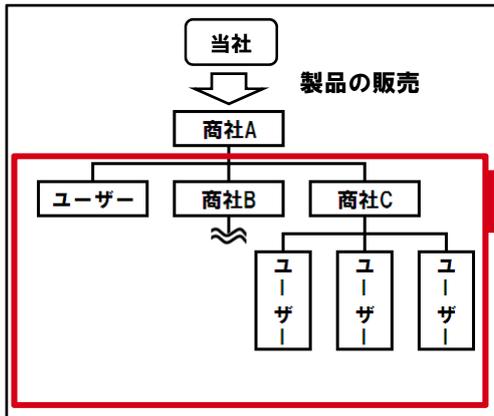
● 連結売上高目標、連結海外比率



国内販売戦略①



“顧客情報のデータベース化” (情報の整理、共有化)



現状の把握と分析

- ・ 採用ユーザー、採用装置状況
- ・ 顧客需要
- ・ 他社採用状況

情報の整理と発信
顧客要望の掘り起こし

販売戦略
製品開発戦略

国内販売戦略②



“コールセンターの開設”

現状営業体制：サテライト営業活動

問題点：タイムリーな対応出来ないケース
情報の共有化、蓄積が不十分



コールセンターの開設（2014/4～）

- ・データベースを元に顧客問い合わせ対応
- ・採用状況、購入品目、受注履歴等自動抽出
- ・顧客情報の共有化、蓄積



顧客管理能力、顧客満足度の向上

国内販売戦略③



“販売促進手段の強化”

業界別販売促進ツールの拡充

- ➔ 業界別アプリケーション事例作成
- ➔ 需要業界への集中営業展開

展示会への積極出展

- ➔ 新製品・注力製品PR強化

新ショールームオープン（2013/10～）

- ➔ 顧客要望への対応
- ➔ 販売店トレーニング
- ➔ 技術ノウハウの蓄積
- ➔ 新製品開発戦略へ

■矢口事業所 完成予想図
1F ショールーム



営業活動の更なる効率化

国内販売戦略④



“営業人員の強化”

現状体制

事務所：岩手、東京、名古屋、大阪、福岡

サテライト営業駐在拠点：埼玉、八王子、神奈川、
京都、神戸、愛媛



営業人員とサテライト営業駐在拠点の増加
(2014/4~)

拠点候補：山形、長野、栃木、北陸、広島、熊本

営業活動の更なる効率化



国内販売戦略⑤



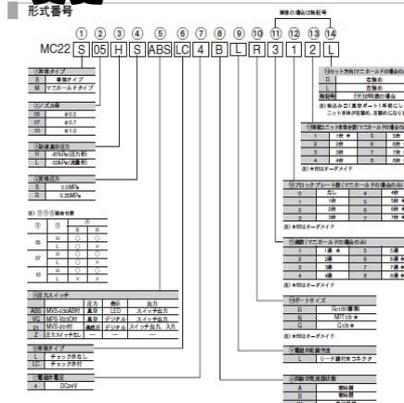
“納期対応力の強化”

受注後3日以内出荷体制 (2013/4~)

製品在庫から部品在庫方式へ変更

製品在庫 → 部品在庫
滞留製品在庫の削減
部品共通化の推進
→株主、顧客への利益還元

製品供給力の強化
価格競争力の強化



■MC22コンバム型式組み合わせ

地産地消への取組み①



“地産地消”

妙徳韓国 コンバム現地組立開始（2013/1）
現地コンバム売上の2割を生産
現地調達比率拡大→価格競争力強化へ
短納期化→顧客満足度向上へ
→更なる生産移管品目拡大へ

販売先の多様化
半導体中心から自動車、包装機、
医療分野への営業展開
→特定業種に依存しない販売体制へ



製品供給力、価格競争力の強化
→更なる販売拡大へ

地産地消への取組み②

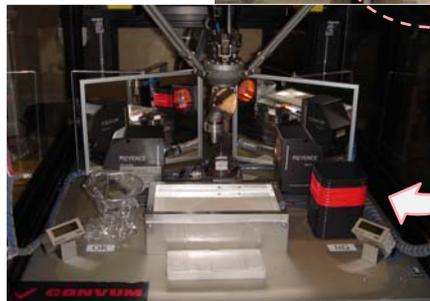


“安定品質生産体制の構築”

パラレルロボット自動検査機

コンバム内部構成部品
検査装置

全数目視検査
→自動検査化
1,200min/月の
人員（工数）削減



誰が何処で作っても安定品質の生産体制構築
不良徹底削減取組

地産地消への取組み③

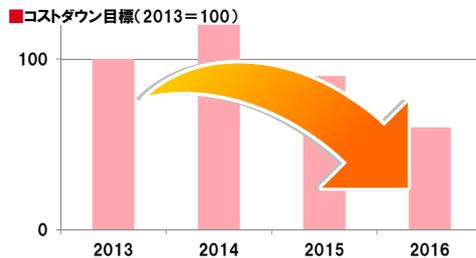


“吸着パッド生産移管”

秋田事業所から岩手事業所へ生産移管（2012/12）
岩手事業所で最適生産ライン、安定品質体制の構築

➡ 海外生産移管、量産開始（2014/1～）

4年後のHalf Cost目標



国内事業所の取組み①



“技術ノウハウの自前化”

金型技術の取得

海外移管用ゴム金型、樹脂金型製作
金型製作・修繕（2013/上期1型製作）
→金型技術、ノウハウの蓄積

■岩手事業所

射出成形技術の取得

人材育成、技術習得教育（2013/5～）
射出成形機導入（2013/10）



→外注品の内製化18百万円/年のキャッシュアウト防止

製造拠点から研究開発拠点への転換

国内事業所の取組み②



“研究開発力の強化”

3Dプリンター導入 (2013/8)

顧客要望への迅速な対応
研究開発コスト、納期の短縮
当社製品＝少量多品種
→基礎研究の実施、継続



■3Dプリンター

新型コンバム発売 (2014/1～)

既存製品の統合
部品共通化による価格競争力強化
初年度販売目標23百万円

■3Dプリンターによる試作品



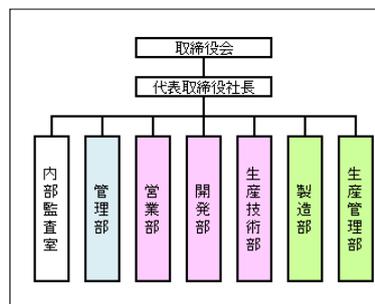
研究開発スピードの加速

国内事業所の取組み③



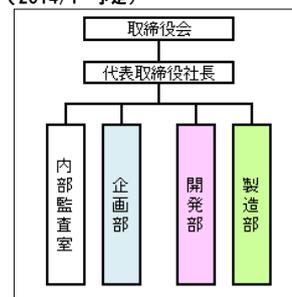
“組織体制の再編”

現行組織：6部1室



新組織：3部1室

(2014/1～予定)



情報の共有化、一元管理の推進
業務遂行スピードアップ
人材教育スピードアップ

アジア販売戦略



“上海妙徳”

販売拠点増設

自動化設備需要拡大
(空圧市場規模2017年2,000億円)

→拠点増設営業体制強化

*当社推計

重慶or成都
(2015)

天津 (2015)

浦西 (2014)
寧波 (2015)

東莞or深セン
(2014)

- 新規販売拠点の増設
- 現在 上海市 (浦東)
- 2014年 上海市 (浦西)
- 広東省 (東莞or深セン)
- 2015年 浙江省 (寧波)
- 天津市
- 内陸部 (重慶市or四川省成都)

“コンバムタイランド”

東南アジア市場の拡販

人員増強による国別拡販活動実施
タイ 自動車業界拡販
シンガポール 専任営業担当設置
インドネシア、マレーシア 重点展開
ITの活用 製品紹介DM発信
(東南アジア、中東)

■製品紹介DM

Myotoku Ltd. - Vacuum Technology leader in Japan
"80 years of Manufacturing and Trust"

PRICE
18.90 USD

VACUUM AIR EJECTOR: MCV-10HS

- * LIGHT WEIGHT:70 gr
- * COMPACT:70x42.5mm
- * HIGH VACUUM LEVEL:87%

APPLICATIONS

- Plastics Injection: take-out robot
- Molding industry: gas exhaust
- Automation equipments: Balancer, Feeder, loading machine, End-of-arm Tooling, Package machine, etc.

Contact Ms. Jantra
CONVUM (THAILAND) Co., Ltd.
E-mail: jantra@convum.co.th
Tel: +66 (0)2 760 5851
Fax: +66 (0)2 760 5853

欧米販売戦略



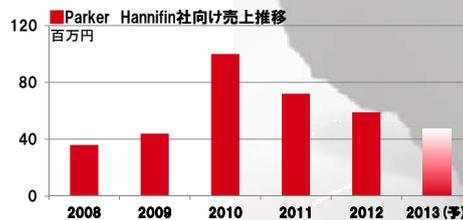
“アメリカ市場”

新規駐在拠点設置

空圧市場規模=約2,000億円*当社推計

現状: Parker Hannifin社他

販売店を通じての販売活動のみ



➡ 営業マン駐在拠点設置 (2014/4Q~)
アメリカ市場での拡販活動

ヒトのグローバル化



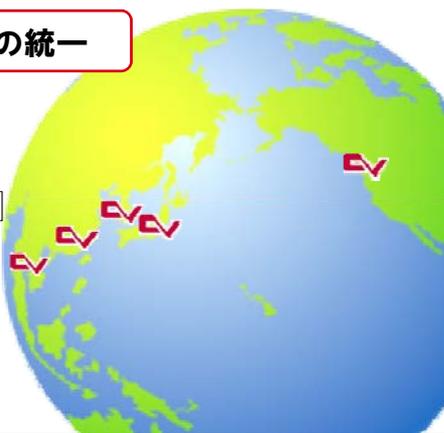
人材のグローバル化

- 外国人留学生採用（12年2名、13年9名）
→日本で採用教育→海外子会社再配置
- 社内英会話教室継続 →2015年社内公用語化目標

グループ人事評価・給与制度の統一

- 2013年指数評価制度導入
- グループ間最適人材配置へ

●子会社人員比率推移



会社概要



会社名	株式会社妙徳（英語表記：Myotoku LTD.） 証券コード：6265
創立（設立）	1951年4月16日
本社所在地	東京都大田区下丸子2-6-18
代表者	代表取締役社長 中森俊雄
資本金	7億4,812万5千円
国内拠点	岩手、東京、名古屋、大阪、福岡
連結子会社	妙徳空覇陸機械設備（上海）有限公司（中国上海） 妙徳韓国株式会社（韓国ソウル） CONVUM（THAILAND）Co.,L t d.（タイ国バンコク）
連結従業員数	141名（単体96名）役員、契約社員・パート等含む
発行済株式数	8,285,000株（うち自己株式 707,953株）
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場

(*)2013年6月30日現在

会社概要



経営理念

人を大切にし、**創造性豊かなアイデアと顧客ニーズの融合により豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます。**

企業理念

- お客様を大事にする
- 最適労働環境の整備を通じて従業員一人一人が安心して働ける職場作り
- 各人のアイデアと顧客ニーズの融合による開発をモットーとする
- 他社との提携を推進し、これにより得られた利益は分け合う
- ガラス張りの経営
- 職場内のコミュニケーション（報・連・相）の重視
- 仲間同士が信頼しあう職場づくり

CONVUMって何？

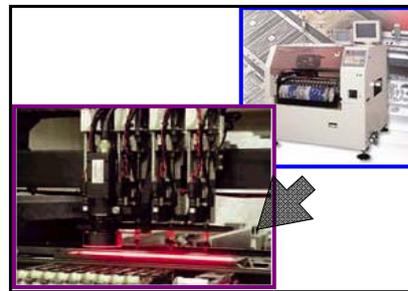


CONVUM(コンバム)は、圧縮空気を利用して真空を発生させる装置の当社登録商標です。

コンバムは主として、各種製造工場の製造ラインの自動化装置において、対象物を吸着固定、吸着搬送するための把持装置として使用されております。



自動車の生産ライン



電子部品・半導体部品の実装

製品紹介

正圧・負圧・浮上をキーワードに市場ニーズに応える製品の開発・製造・販売を行っています。



シリンダ



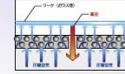
TSシリーズ



ESシリーズ

非接触(浮上)搬送ユニット LTU

エア浮上ユニットで非接触搬送を実現
 ●大型ガラス基板等のたわみやストレスを軽減し生産効率をアップ
 ●ガラスのサイズ、プロセスに合わせた自由なレイアウトが可能



電磁弁 サイレンサー



CV36シリーズ



CV36シリーズ

FRL 継手・チューブ



MP10シリーズ



MP10シリーズ

コンバム 真空切換弁



CV10シリーズ



CV10シリーズ

吸着パッド



PADシリーズ



PADシリーズ

圧力センサ 流量計



MP30シリーズ



MP30シリーズ

NEW 真空ポンプラインアップ



CV1-10V / CV1-25V



CV3-3V / CV3-5V

特長

- ロータリーベーン構造の回転式ポンプ

特長

- ロータリーベーン構造の小型回転式ポンプ
- 設置が容易
- 低スペース

お問い合わせ先



■ I R 統括責任者 代表取締役社長 中森 俊雄
 ■ お問い合わせ先 管理部長 篠原 康隆

■ TEL : 03-3759-1491

■ FAX : 03-5741-7020

■ E-Mail : info@convum.co.jp

ホームページでは、会社情報を随時更新しております。

■ URL : http://www.convum.co.jp

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しにのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。